



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.6
令和8年 8月21日
文責 校長 及川 年彦

【学校の教育目標】
りこうで 稲穂小 WEB
たっしやで
ほがらかな
稲穂の子



「新たな宝物を見付ける2学期に」

校長 及川 年彦

この夏、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」により、大きな被害がもたらされました。亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の災害を通して、日頃の備えの重要性や、困難な状況の中で人と人が支え合うことの尊さを改めて考えさせられました。前号でお知らせした「CS防災教室」の実現に向け、学校・家庭・地域がともに防災について考え、備えを進めるための熟議を重ねていきたいと考えています。

長い夏休みが終わり、学校には子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。保護者や地域の皆様には、夏休み中、子どもたちの安全な生活を支えていただき、心より感謝申し上げます。

夏休みの間、子どもたちは家族との時間を過ごしたり、地域行事に参加したり、学習やスポーツに取り組んだり、それぞれに貴重な経験を積んできたことと思います。楽しかったことだけでなく、思うようにいかなかったことや新たな挑戦も含め、その一つ一つが子どもたちの成長の糧となっています。

さて、いよいよ2学期が始まります。本校では、『**子どもの主体性・協働性を高め伴走していくあたたかい学校**』の実現を目指し、教育活動を進めています。2学期は、学習や学校行事を通して、子どもたちが大きく成長する学期です。始業式では、子どもたちに次の三つのことを大切にしてほしいと伝えました。

(1) 自分からやってみること・・・**主体性を育む**

失敗を恐れず、一歩踏み出して挑戦する経験を積み重ねることで、主体性や自己肯定感が育まれます。また、これからの予測困難な時代を生きていく子どもたちには、自ら課題を見付け、考え、判断し、行動する力が求められます。本校が目指す「より良い行動を考え、進んで取り組む子ども」の姿につながるものです。

(2) 友だちと力を合わせること・・・**協働性を育む**

学校では、多様な考えや個性をもつ仲間と学びます。時には意見が違いますが、相手の考えを理解しようと努め、自分の思いを伝えながら折り合いをつけ、よりよい方法を見付けていくことが大切です。こうした経験を通して、子どもたちは協働する力や他者を尊重する態度を身に付けていきます。本校が重点としている「より良いものを作り出すために協働できる子ども」の育成につながるものです。

(3) 体と心を大切にすること・・・**あたたかい学校をつくる**

安心して学び、挑戦するためには、健康な体と安定した心が土台となります。規則正しい生活習慣を身に付けるとともに、自分自身を大切に、困ったときには周囲に助けを求めることも大切です。また、自分が大切にされたいと思うのと同じように、友だちや周りの人を大切にすることが、誰もが安心して過ごせる「あたたかい学校づくり」につながります。

これらの力を育むためには、学校だけでなく、家庭や地域とのつながりが欠かせません。子どもたちは、多くの人との関わりの中で認められ、励まされながら、安心して挑戦し、さまざまな経験を通して成長していきます。学校・家庭・地域が力を合わせ、一人一人の子どもの成長とともに喜び合える2学期にしていきたいと考えています。

また、本校では一人一台端末を活用した学習も進めています。端末を使うことが目的ではなく、子どもたちの学びをより豊かなものにすることを大切にしています。調べたり、考えを整理したり、友だちと共有したりする活動の中で、アナログとデジタルそれぞれのよさを生かしながら、子どもたちの主体的・協働的な学びを支えていきたいと思っています。

2学期の終わりには、子どもたちが「こんなことができるようになった」「仲間と力を合わせて頑張れた」と、自分自身の新たな「宝物」をたくさん見付けられることを願っています。今学期も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

第60回おたる潮まつり～潮ねりこみ～に参加しました！

夏休みに入り、7月25日（土）、第60回おたる潮まつり「潮ねりこみ」に稲穂小学校、西陵中学校の合同梯団で参加しました。

当日は、正六角形の中に稲穂小学校131周年の「131」と、第60回おたる潮まつりの「60」をあしらったブルーのオリジナルTシャツを着用して参加しました。爽やかなブルーのTシャツが総勢200名ほどの梯団全体の一体感を高め、子どもたち、保護者の皆様、教職員が心をつなげて、サンモール一番街から小樽港中央埠頭までのコースを元気な掛け声と笑顔で練り踊り歩きました。

暑すぎず、心地よい風も感じられる中、沿道には多くの地域の皆様や観光客の方々が集まりました。温かい拍手や声援を受けながら、子どもたちは最後まで笑顔で踊り続け、保護者や教職員も一緒になって潮まつりを盛り上げました。また、地域の伝統あるお祭りに参加することで、ふるさと小樽への愛着や地域とのつながりを改めて感じる機会となりました。

ご声援を送ってくださった地域の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。これからも地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちの成長につながる活動を続けてまいります。



「夏休みラジオ体操」が行われました！

7月27日から7月31日までの5日間、今年も保護者の皆様の有志による「夏休みラジオ体操」が稲穂小学校玄関前で行われました。期間中は、毎朝50名以上の子どもたち、保護者の皆様が参加し、夏の朝のさわやかな空気の中、元気いっぱいラジオ体操に取り組みました。体をしっかりと動かして一日のよいスタートを切ることができました。

ラジオ体操では、代表の子どもが前に出て体操のお手本をつとめました。参加した子どもたちは、お手本の動きを見ながら、一つ一つの動作を大きく伸び伸びと行っていました。最終日には、5日間欠かさず参加した皆勤賞の子どもへ賞状と記念品が贈られました。そのうち6年生には、校長先生から賞状が授与され、温かい拍手が送られました。賞状を受け取る子どもたちの表情からは、最後まで頑張って参加した達成感も感じられました。

夏休みラジオ体操は保護者の皆様のご協力により安全で充実した活動となりました。早朝から準備等でご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



保護者アンケートのご協力、ありがとうございました。

1 学期末に実施しました保護者アンケートには、ご多用の中、多くの皆様にご回答いただき、ありがとうございました。

現在、児童アンケートの結果とあわせて集計・分析を進めております。結果につきましては、改めてお知らせいたします。また、いただいたご意見・ご要望の中に、個別の回答を希望されるものはありませんでしたが、学校としての考えや今後の改善の方向性についてもお伝えする予定ですので、もうしばらくお待ちください。

これからも保護者の皆様と学校が連携しながら、子どもたちのよりよい成長を支えていきたいと考えております。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。